



手をつないでゴールする親子

八幡のまち ランRUNラン

市民マラソン 573人力走

12月5日、「2021八幡市民マラソン大会」が市民スポーツ公園を発着点に開催され、参加した573人のランナーが木津川左岸堤防や上津屋工業団地などのコースを力走しました。



息を弾ませ駆けるランナー

同大会は、スポーツ協会や市などで構成される大会実行委員会が毎年主催。前は新型コロナウイルスの影響で中止となり、今回は感染症拡大防止のためハイマラソン種目を中止し、性別、年齢ごとに10km、3km、2kmの種目のみを実施。参加者を市内在住・在学・在勤者に限定するなど、規模を縮小して開催されました。

スターターの号砲が鳴り響くと、ランナーは一斉に勢いよくスタート。息を弾ませ、沿道からの応援に手を振るなどしながらそれぞれのペースで八幡のまちを駆け抜けました。

また、親子ペア部門では小学2年生以下の子どものと保護者が、2kmのコースに挑戦。親子で励まし合いながら精いっぱい走り抜き、最後は手をつないでゴールしていました。



12月18日、しめ縄かざり作りが生涯学習センターで開催され、親子連れなど13人がしめ縄を飾り付けました。

この講座は、子育ての悩みの緩和や気分転換の機会を提供する子育て支援事業「親育ち・子育て」の一環として、同センターが企画しました。

参加者たちは、フラワーアレンジメント講師の谷口舞さんに教わりながら、しめ縄に取り付ける親子

しめ縄親子でアレンジ

生涯学習センター 子育て支援事業

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

おもちつき 楽しいね

12月14日、南ヶ丘第二保育園でおもちつきが行われ、3～5歳児42人がつきたてのおもちを堪能しました。

この行事は、お正月の準備が行われる年末に向けて、園児に日本の伝統行事を体験してもらおうと、毎年実施されています。

園のみんなが見守るなか、代表して5歳児が1人ずつ順番につき手に挑戦。持ち上げた杵を力いっぱい振りおろすと、「ペタン、ペタン」と音が響き、周りの園

児も「よいしょー、よいしょー」と声をあげて盛り上げました。

つきあがったおもちは、先生たちが温かいうちに丸め、きなこをたっぷりまぶして完成。園児は、おもちをほお張ると、友達と顔を見合わせ「おいしいね」と笑顔いっぱいでした。

内藤悠ちゃん(5)は、「初めておもちをついて、楽しかった。おもちが軟らかくておいしかった」と話していました。



おもちつきへ園児

今月のこの人 ボート インターハイ 4位入賞に貢献



うえむら そういちろう 植村 壮一郎さん

「令和3年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会 男子舵手つきクォドルプル種目で4位入賞。京都府立海洋高等学校3年生、男山東中学校出身。」

舵手1人と漕手4人でボートを走らせる舵手つきクォドルプル種目。植村さんは、正確なリズムでボートを漕ぎ続ける役割を担う漕手のリード役「ストローク」としてインターハイに出場し、4位入賞に貢献しました。

小・中学校では野球に打ち込み、ボート競技を始めたのは高校から。「ボートのバランスをとるのが難しく、1年生の時は何回も海に落ちた」と苦しい植村さ

インターハイでのレースの様子



ん。それから日々、筋トレや乗艇練習を積み重ね、全国屈指の選手に成長しました。

大会には「落ち着いて臨めた」と、レースごとにタイムを上げ、決勝までを全て組1位で突破。優勝はなりませんでした。最高

の舞台上、全力でプレーできたと力を出し切りました。

高校卒業後は、大学でボート競技を続ける植村さん。「8人で漕ぐ『エイト』種目で、インターハイで日本一になりたい」と、高校で仲間と切磋琢磨して得た経験を糧に、再び頂点を目指します。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体を紹介しています。詳しくは、市ホームページまたは秘書広報課へ。